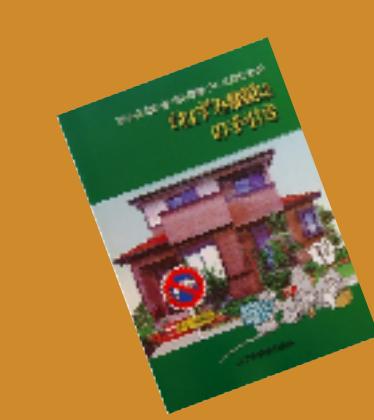


ナカさんにおまかせ!

MSDS(製品安全データシート)

皆様が食品工場や大手チェーンの飲食店などで作業をするとき、品質管理の責任者や飲食店の店長から、「MSDSを提出して下さい」と言われることがあると思います。MSDSとは、Material Safety Data Sheet の略で、「製品安全データシート」と訳します。本来は、その物質の製造や保管、使用など、その物質に係わる人にその物質の性質を知らせ、安全に作業できるようにするためのものです。しかし、「安全データシート」の意味をとり違えて、製品の安全性を示す証拠と誤解されることも多く、安全な薬剤を使用している証拠として、MSDSの提出を求められることもあります。ナイナイプラザでは各薬剤のMSDSを準備しています。MSDS提出の依頼を受けたら、すぐにご連絡をください。その時には、MSDSが必要な①薬剤名と②その商品コードをお知らせ下さい。すぐにFAXまたはコピーを郵送致します。



おすすめの本

おすすめの本

住環境の害虫駆除対策



ゴキブリ、カ、チョウバエ、ハエ、ユスリカ、ハチ、その他の住環境害虫類やダニ、ネズミ、自然界の害虫の生態と防除や薬剤の毒性、安全性、防除作業に関する最新の情報がまとめてあり、PMPの教科書として最適。

B5判 454頁
(発行所) 財団法人 日本環境衛生センター

8938

ネズミ駆除の手引き(飲食店用)



ネズミ駆除を研究している「ねずみ駆除協議会」が、飲食店と食料品店でのネズミ対策を解り易く解説をしたネズミ駆除の手引書。

A5判 28頁
(発行所) ネズミ駆除協議会

8934

PCOのためのウエストナイル熱



ウエストナイル熱の媒介蚊対策の基本的指針を受けて、PCOが実施する具体的な作業を、比較的初心者にも実行できることを中心に解説。

A4判 47頁
(発行所) 社団法人日本ベストコントロール協会

8933

ネズミ駆除の手引き(一般家屋用)



ネズミ駆除を研究している「ねずみ駆除協議会」が一般家屋でのネズミ対策を解り易く解説をしたネズミ駆除の手引書。一般の方に説明するのに解りやすい内容。

A5判 20頁
(発行所) ねずみ駆除協議会

8935

第2版 感染症対応マニュアル



ペストコントロールとして実施可能な、或いは地方自治体の感染症対策の受け皿として活動すべき平常時および緊急時の感染症対策を整理しマニュアルとして解説。

A4判 139頁
(発行所) 社団法人 日本ペストコントロール協会

8932

建築物におけるIPM仕様書



IPMの考え方をもとに「ネズミ・害虫の調査と防除基準」を解説。

A4判 40頁
(発行所) 社団法人 日本ペストコントロール協会

8930

ビルの防鼠構造・工事マニュアル



ネズミ駆除、殺鼠剤の研究をしている「ネズミ駆除協議会」発行のマニュアルで、防鼠構造と防鼠工事の具体的な施工方法を解り易く解説。

A5判 88頁
(発行所) ねずみ駆除協議会

8936

改訂版・防除作業従事者研修テキスト



「建築物における衛生環境の確保に関する法律」に基づく防除作業者研修用のテキストで、従事作業者という観点から現場に即した内容。

B5判 134頁
(発行所) 社団法人 日本ペストコントロール協会

8931

おすすめの本

家ねずみ用語事典



名前は用語辞典ですが、それぞれの単元を、種類、形態、生態、被害、防除、その他に分けて載せてあるため、読み物としても面白いですし、役に立ちます。

A5判 102頁, 2,000円
ねずみ駆除協議会

0008943

防虫・防腐用語事典



しろありだけでなく、生活に関係のある害虫や腐朽に関する用語がまとめられています。

105×172mm判 219頁, 1,200円
(社)日本しろあり対策協会

0008944

原色図鑑・衛生害虫と衣食住の害虫



食品害虫、家具、建材の虫、書籍の害虫、吸血、刺咬性害虫、野外からの侵入害虫、衣類の害虫、不快害虫・動物など合計130種あまりを収録した生活害虫の原色図鑑。

B6判 310頁
著者:安富和男、梅谷献二
発行所:全国農村教育協会

0008937

原色図鑑 野外の毒虫と不快な虫



衛生害虫と衣食住の害虫の姉妹本のような感じです。一般家庭の庭先で見かける害虫などが載っています。説明も分かりやすいです。

B6判 331頁, 定価3,670円 (書店でお求め下さい)
著者:梅谷献二 (編集)
発行所:全国農村教育協会

不快害虫とその駆除



PCO業界の教科書的な本です。
身近で発生しそうなハエ類や甲虫類が載っています。特にコバエ類は、クロバネキノコバエ類、ニセケバエ類、チョウバエ類、ノミバエ類、ショウジョウバエ類、ハヤトビバエ類が網羅されています。

A5判 172頁, 定価2,100円
服部畦作・森谷清樹 (著者代表)
発行所: (財)日本環境衛生センター

0008945

新しい害虫防除のテクニック



殺虫剤や施工方法の歴史、現在使用されている殺虫剤や機械の解説から、都市化に伴って出現した昆虫の紹介、都市環境下での害虫管理の方法から、難防除害虫の対応ノウハウなどまで載っています。

A5判 157頁, 定価2,205円 (書店でお求め下さい)
著者:林晃史
発行所:南山堂

ゴキブリと駆除



PCO業界の教科書的な本です。
問題となるゴキブリ類の分類、詳しい生態、駆除方法が載っています。

A5判 197頁, 定価2,100円
緒方一喜・田中生男・安富和男 共著
発行所: (財)日本環境衛生センター

0008946

本シリーズでは、他に、“ネズミとその駆除”, “ダニとその駆除”, “ハエ・蚊とその駆除”という本が出ていました。全てお勧めなのですが、上記2冊以外は在庫切れでした。増刷は未定のことでした。

住まいとシロアリ



シロアリの被害からシロアリの生態、防除方法まで、詳しくそして分かりやすく書かれた本です。教科書として、読み物として、素晴らしい本です。

A5判 174頁, 定価1,554円 (書店でお求め下さい)
今村祐嗣・角田邦夫・吉村 剛編
発行所:海青社

おすすめの本

家屋害虫辞典



害虫概論（どのような害虫がどのように害を与えるかなど）から、主要害虫の形態・生態、さらには防除概論まで載っています。

白黒ですが、写真や絵もあり使いやすい一冊です。

A5判 470頁、定価5,670円（書店でお求め下さい）

著者：日本家屋害虫学会

発行所：（株）井上書院

安心して住めるネズミのいない家



ネズミ研究の第一人者が書いた、都市で激増するネズミ撃退マニュアルです。
とても読みやすく、一読をお勧めします。

115×174mm判 190頁、定価800円（書店でお求め下さい）

著者：谷川 力

発行所：講談社

食品衛生新5S入門



食品衛生新5Sは、微生物レベルまで考えた清潔を作り出し維持する活動です。この食品衛生新5Sを解り易く説明し、HACCPシステムとの関係を解説。

A5判 91頁

（著者）米虫節夫、角野久史、衣川いづみ
(発行所) 財団法人 日本企画協会

8939

ISO22000食品安全マネジメントシステム入門 ●やさしいシリーズ10●



HACCPシステム解説と食品安全マネジメントシステムとしてのISO22000システムを解説、又食品安全マニュアルの作り方を解り易く説明。

A5判 110頁

（著者）米虫節夫、金 純哲
(発行所) 財団法人 日本企画協会

8940

原色日本昆虫図鑑 下



下巻では甲虫類、チョウ・ガ類を除く、昆蟲類が載っています。分かりやすく便利です。

（書店でお求め下さい）

A5判 346頁・定価5,670円（上）、A5版478頁・定価6,300円（下）

著者：中根猛彦監修（上）、伊東修四郎・奥谷禎一・日浦勇 編著（下）

発行所：（株）保育社

原色日本甲虫図鑑 I～IV



甲虫について詳しく載っていますが、載っている昆虫数が多いので、最初は使いこなすのは難しいかも知れません。慣れると心強い図鑑です。

（書店でお求め下さい）

A5判 450頁・定価：5,460円（I）、A5版526頁、定価6,510円（II）

A5判 514頁、定価：6,510円（III）、A5版450頁、定価5,880円（IV）

著者：森本桂他（I）、上野俊一郎（II）、黒澤良彦（III）、林匡彥他（IV）

発行所：（株）保育社

日本幼虫図鑑



昆虫全般の幼虫を記載した図鑑です。一般の人からの問い合わせで、幼虫が持ち込まれた時などに役に立ちます。

A5判 760頁、定価15,750円（書店でお求め下さい）

著者：河田党他

発行所：北隆館

原色日本昆虫大図鑑 第Ⅰ卷・第Ⅱ卷・第Ⅲ卷



この3冊で昆虫は網羅されます。非常に詳しく載っており、最初使いこなすのは難しいかも知れません。買う前に本屋で確かめて下さい。しかし慣れると、とても心強く感じるでしょう。

B5判 600頁（I）、650頁（II）、520頁（III）

各定価：21,000円（書店でお求め下さい）

著者：井上寛他（第1巻）、中根猛彦他（第2巻）、

朝比奈成二郎他（第3巻）

発行所：（株）北隆館

広告協賛会社のご案内



アース製薬株式会社 190page

いきもの研究社 192page

三共アグロ株式会社 194page

住商アグロインターナショナル株式会社 196page

大日本除虫菊株式会社 198page

株式会社 ニックス 200page

バイエルクロップサイエンス株式会社 202page

BASF アグロ株式会社 204page

フマキラー・トータルシステム株式会社 206page

Killgerm Group Ltd. 208page

富士フレーバー株式会社 210page

※207頁まで五十音順です。

アース製薬株式会社



アース製薬の願いは、
暮らしのすべてを快適にすること。
強固なブランド力を基盤に、
独創的な商品提案で市場を拓く。

お近くのドラッグストアでも、地球の裏側でも、目にすることができるアース製薬の手がけたヒット商品の数々。

生活者の視点に立ち、そのニーズを先取りした新しい機能と感性、他社にない類を見ないオリジナリティを誇っています。

アース製薬は、ベストクオリティの「オンリーワン製品」を提供することで、新しい市場を次々に開拓。

お客様の熱い信頼を得ながら、世界へと活躍の場を広げています。

より上質な生活空間を求めて…。

私どもアース製薬は創業以来一世紀にわたり、より上質な生活空間のご提案を中心、家庭用殺虫剤分野や生活用品分野において、今まで市場に存在しなかった=「オンリーワン製品」を独創的な視点と発想から次々に創造し、世に送り出してまいりました。

「ベストクオリティで世界と共生」を社是とし、世界最高のレベルの品質でお客様から絶大なる信頼をいただいております。

この信頼をベースに製品のみならずアース製薬という企業に対しても、株主、取引先、地域社会など、全てのステークホルダーからの信頼を深めてまいりたいと思っております。

そのためにも、コンプライアンスの向上、コーポレートガバナンスの充実を図るとともに、環境保全にも配慮しながら、企業価値の向上に邁進してまいります。将来は、当社の基盤であります家庭用殺虫剤分野から生まれる安定的なキャッシュフローを武器に、新商品開発力をさらに強化するとともに、業務提携あるいはM&Aによる事業拡大戦略を積極的に邁進し、国内市場のみならず急成長が見込まれる海外市場での販路拡大を目指してまいります。持続的な成長を目指し、堅実に挑戦し続けるアース製薬に、どうぞ期待ください。

代表取締役社長 大塚 達也

家庭用殺虫剤の長い歴史で培ったノウハウで、
プロの皆様の仕事を応援します

家庭用でおなじみの商品と
業務用商品例



ゴキブリホイホイ
ゴキブリトラップの元祖(本文・貢参照)



ネズミホイホイ



アリの巣コロリ



アースレッドW



ゴキジェットプロ アースジェット



スーパーデスマア



バボナ



ブラックキャップ

しぜんがだいすきです。
むしがだいすきです。
わるむし退治は調査から。



いきもの研究社 代表 吉田政弘

京都府立大学農業部農学科応用昆虫学専攻卒業。
(元)大阪府立公衆衛生研究所 主任研究員(医動物)
屋内塵性ダニ類とアレルギー疾患について長年研究。
“外来生物”毒グモ、アリ等の分布、生態調査。

現在、いきもの研究社代表、
(財)ビル管理教育センター講師、(社)大阪府ベストコントロール協会 理事、日本環境動物昆虫学会評議員、
インテリアファブリックス性能協議会 理事

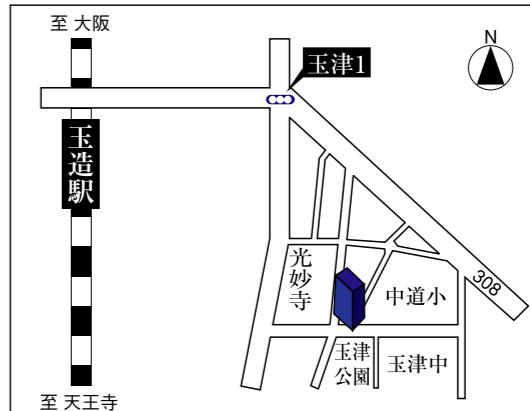
会社概要

名 称 いきもの研究社
創 業 2003年4月1日
創 立 2003年4月1日

いきもの研究社

〒537-0023
大阪市東成区玉津1丁目8番20号 パライソ玉津1F
TEL/FAX 06-6976-0455
Eメール musi@bio-research.jp

Access Map



三共アグロ株式会社

三共アグロ株式会社の概況

1899年に創業以来、医薬品と農薬などの研究開発および製剤技術で多くの成果と功績を残し、人の生活の基盤である「健康」を提供しつづけてきた三共株式会社。三共アグロ株式会社は三共株式会社から農業事業部門を分社し、2003年4月にスタートした会社です。

「三共農薬」は三共株式会社が1921年に国産初の合成農薬を発売して以来80余年の長きにわたり、農薬の研究、製造、販売を通じて農作安定生産のお手伝いをしてまいりました。長年培った技術を基礎とし、農薬の適正使用、安全使用を目標に農家の視点に立った製品とサービスの提供を目指し、日本ひいては世界の食糧生産に貢献できるよう、これからも一丸となって努力して参ります。

そして2007年2月、同じ三共グループの会社である三共ライフテック株式会社のアメニケア部門を新たに加えて、2007年4月には三井化学株式会社の100%子会社として更なる飛躍と発展に向けて事業展開を図ります。

三共アグロ株式会社のアメニケア事業

心地よい生活環境（アメニティ）づくりのお手伝い（ケア）、それが当事業グループ名「アメニケア」の由来です。大切な住まいを虫菌害から守るために、長年の研究、開発から生まれた防蟻・防虫・防腐剤を害虫防除業者様や建材メーカー様などに幅広い分野でご利用いただいています。

よりすぐれた製品を求めて新製品の開発にも積極的に取り組んでいます。三共時代に培った開発、製剤技術をコア・コンピタンスにして、同業他社や外部機関、さらには海外の企業や研究所とのコラボレーションを積極的に実行していきます。

人々の暮らしのニーズにいち早く対応する製品を研究・開発しながら、生まれつつある市場機会を自らクリエイトしていく、それがアメニケア事業の理念です。

主な取り扱い品目

防蟻剤

ミケブロック
メトロフェン

防疫剤

デミリン製剤
ベルミトール

VOC対策の決定版

ミケブロック[®]

確かな効果と優れた安全性を兼ね備えた、人に環境に優しいシロアリ防除薬剤

低 VOC

超低臭性

高い安全性

確実な効果



<土壤処理用> 顆粒水溶剤2kg

特徴

- ・新剤型「顆粒水溶剤」です。
- ・VOCを含有しません。
- ・極めて低臭性で刺激性もほとんどありません。
- ・有効成分が非忌避性かつ遅効性ですので、シロアリに対し持続的な効果を発揮します。
- ・有効成分の蒸気圧が極めて低く揮散しにくいため、居住者に対する安全性が高いです。

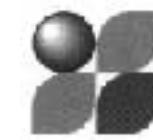


<木部処理用> 乳剤500ml

特徴

- ・高希釈倍率の木部処理用乳剤です。
- ・VOCを当社従来比98%以上削減しています。
- ・高い防蟻性能でシロアリに対し持続的な効果を発揮します。
- ・極めて低臭性で、刺激性もほとんどありません。
- ・防腐成分のF-69が広範囲なスペクトルを有し優れた防腐効果を発揮します。

三共アグロ株式会社



住商アグロインターナショナル株式会社

住商アグロインターナショナル株式会社は、豊富な人材と蓄積されたノウハウを最大限に生かし、農業マーケットと生活環境マーケット、ペット用品マーケットに専門特化した高付加価値ビジネスを開拓する専門商社であります。住友商事グループの海外ネットワークを背景とする強固な販売力と、提案型・創造型の高度なノウハウを駆使し、地球規模での豊かな社会づくりと環境保全に貢献しております。

生活環境マーケットでは、蚊取り線香、蚊取りマットなどの家庭用殺虫剤の原料や、ペストコントロール用の最終製品を取り扱っており、商品の輸出から各国での開発、ライセンス取得、マーケティング、販売まで、この分野でのトータルな事業活動を行っております。

当社のペストコントロール用最終製品としては、発売以来多くの皆様からご愛用をいただいております「ノビマックス油剤」があります。プロポリス有効成分とするカーバメート製不快害虫用製剤として、あらゆる不快害虫の駆除に適しております。商品名の「ノビマックス」には、ペストコントロールマーケットの拡大（市場の伸び）、駆除効果の促進（駆除率の伸び）、お客様のご発展（商売の伸び）という三つの願いを込めて名づけております。また、商品パッケージのライオンのイラストで、商品の逞しさを表しております。これからも「ノビマックス油剤」のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

住商アグロインターナショナル会社概要

設立	1982年7月15日
資本金	320百万円（住友商事株式会社100%出資）
従業員数	95名
事業内容	農薬・家庭用殺虫剤及びその関連資機材の国内、貿易取引、国内外での農薬・家庭用殺虫剤の製造・販売会社運営、ペットケア関連商品の国内、貿易取引
所在地	〒104-6223 東京都中央区晴海1-8-12

ノビマックス 油剤

カルバメート系不快害虫用殺虫剤



4ℓ

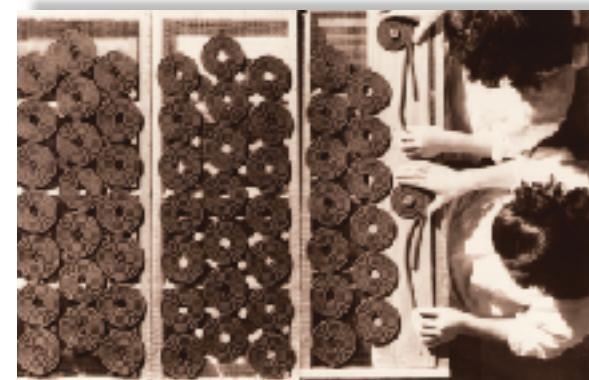
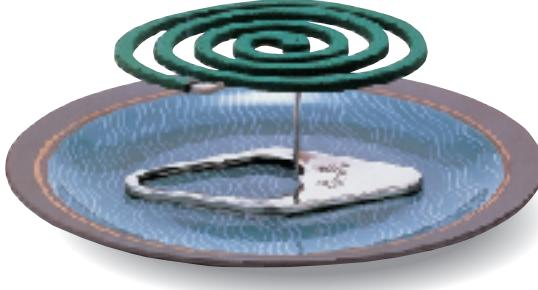
住商アグロインターナショナル株式会社
大阪府大阪市中央区北浜4丁目5番33号

暮らしのなかにはいつも変わらず、 「金鳥の渦巻」があります。

120年にもわたる長い伝統を
築くなかで、新しい技術は、
いつもゼロから生まれました。

明治18年、創業者である上山英一郎がH·E·アモア氏と出会い、当時日本になかった除虫菊の種子を手に入れて120年もの歳月が経ちました。世界初の渦巻型かとり線香の開発をはじめ、エボックメイキングなさまざまな商品づくりを通じて、いつも健やかで快適な暮らしを提案。

KINCHOは21世紀を迎え、新しい伝統への第一歩を踏み出したところです。



かとり線香の手巻き風景(昭和28年ごろ)

金鳥の「商標」が登録されたのは明治43年(1910年)のこと。創業者・英一郎は「自社の製品が世界中で親しまれ、愛され、人々の健康に役立ちたい」という夢を、この商標に託しました。そして、製品の品質の高さによることはもちろんのこと、伝統的な宣伝戦略によっても「金鳥の渦巻」は、その夢の通りに日本や世界の家庭で親しまれるようになりました。

大正から昭和にかけては、美術品と言ってもよいほどの美しい石版刷りのカラーポスターを数多くつくり、今や懐かしいポンネットのついたトラックに飾りをつけて街頭宣伝をしたり、懸賞つき大売出しの新聞広告を打つなど、広告宣伝も活発に行いました。



海外向けポスター

本社前に勢揃いした街頭宣伝隊

「金鳥」の商標のいわれ

司馬遷によって編纂された中国史上初の歴史書「史記」のなかの「蘇秦伝」に、中国戦国時代の遊説家・蘇秦は、韓、魏、趙、燕、楚、齊の王たちに同盟を結び、秦に対抗すべきであると説き、「それぞれ小国であっても一国の王としての権威を保つべきだ。秦に屈服するなどということを伝えるために、「鶏口と為るも牛後と為る無かれ」という言葉を引用しました。つまり秦に屈して牛の尻尾のように生きるよりも、小とは言え、鶏の頭(カシラ)になるべきであると、各國の王を説き、合従策を完成しました。この一節を信条としていた上山英一郎は、明治43年(1910年)「金鳥」の商標を登録しました。業界の先駆者として「鶏口」になるべき自覚と気概を持ち、品質をはじめ、あらゆる面で他より優れたトップの存在であることを願い、決して「牛後」となることがないよう自戒を込めた決意にほかりません。今後も常にメーカーとして、品質、信用、経営などの角度から見てもナンバーワンであることを追求してまいります。



大日本除虫菊株式会社

安全性を第一のテーマに、自然環境を見つめて。
…そして、住みやすい地球になります。

KINCHOでは一般家庭内で使われる商品だけでなく、オフィス、公共設備などパブリックスペースで使う防疫剤、また牛や豚の畜舎や鶏舎などで使う害虫対策の殺虫剤など…地域社会の環境衛生にも貢献しています。

環境保全は21世紀を迎えて、私たちが積極的に取り組まなければならないテーマのひとつです。KINCHOは、豊かな自然環境を後世に伝えていくために、温血動物に対しての安全性はもちろん、自然界での分解の速さも考慮した研究開発を行っています。

【金鳥防疫用殺虫剤、動物用殺虫剤、シロアリ剤主要ラインナップ】

防疫用殺虫剤



- 油剤
 - ピレスロイド系殺虫剤
 - ・キンチョール液
 - 乳剤・MC(マイクロカプセル)
 - ピレスロイド系殺虫剤
 - ・キンチョール液
 - ・金鳥スミスリン乳剤(水性乳剤)
 - ・金鳥エクスミン乳剤(水性乳剤)
 - ・金鳥エクスミン乳剤LA(油性乳剤)
 - ・カメムシ用キンチョール乳剤
 - 有機リン系殺虫剤
 - ・金鳥スミオチン乳剤
 - ・金鳥ゴキブリ用スミオチンMC
 - ・金鳥SV乳剤A
 - ・金鳥DDVP乳剤
 - ピレスロイド系・有機リン系殺虫剤混合剤
 - ・金鳥SNP乳剤A
 - ・金鳥ダイアジンNP乳剤A

- ULV剤
 - ピレスロイド系殺虫剤
 - ・金鳥ULV乳剤S
 - ・金鳥ULV乳剤E
 - エアゾール剤
 - ・プロ用ゴキブリ駆除剤
 - ・水性プロ用ゴキブリ駆除剤
 - ・カメムシキンチョール
 - 粒剤
 - 昆虫成長制御剤(IGR剤)
 - ・金鳥スミラブ粒剤
 - その他
 - ・調査用トラップ
 - ・マックスフォースジェルK
 - ・マックスフォースG(ステーションタイプ)

動物用殺虫剤

- 乳剤
 - ピレスロイド系殺虫剤
 - ・動物用金鳥ETB乳剤
 - ・動物用金鳥スミリン乳剤
- 粒剤
 - 昆虫成長制御剤(IGR剤)
 - ・金鳥シロネン乳剤S
 - ・金鳥PPK水溶性粒剤

- 土壤処理剤
 - ・金鳥シロネン乳剤S
 - ・金鳥シロネン油剤C
 - ・金鳥シロネン乳剤A(水性乳剤)
 - ・金鳥シロネン木部用水性乳剤
- 木部処理剤
 - ・金鳥シロネン油剤C
 - ・金鳥シロネン乳剤A(水性乳剤)

金鳥農薬



- ・金鳥除虫菊乳剤3
- ・園芸用キンチョールE

シロアリ防除剤

- 土壤処理剤
 - ・金鳥シロネン乳剤S
 - ・金鳥シロネン油剤C
 - ・金鳥シロネン乳剤A(水性乳剤)
 - ・金鳥シロネン木部用水性乳剤

日本で初めて衛生害虫に濃厚少量噴霧(ULV処理)ができる「ULV乳剤」、広い範囲の衛生害虫や吸血害虫に効力のある本格的な家畜・家禽の外部寄生虫駆除剤「動物用金鳥ETB乳剤」、ピレスロイドをしのぐ殺虫成分「シラフルオフエン」を世界に先駆けて商品化した「金鳥シロネン乳剤S・油剤C」など、高い安全性・高い殺虫効果を誇る商品群です。

ニックスの防虫忌避プロダクト ARINIX® Insect Repellent Products

クモやアリなどの防虫忌避を目的に世界で初めて工業分野に対応できる長寿命な素材(NIXAM®)が誕生いたしました！

ニックスとは？

当社は、プラスチックを中心とした製品技術で皆様に価値を提供する企業を目指しています

商号 株式会社ニックス

設立年月日 1953年4月11日
資本金 8000万円
代表者 代表取締役社長 青木伸一
従業員数 180名
本社所在地 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3
クイーンズタワーB 8F

ニックス・オブ・アメリカ

〒95110
カリフォルニア州サンノゼ市
メトロドライブ181 メトロプラザ590
Tel: 408-971-3115 Fax: 408-971-3305

ニックス・オブ・香港

Tel: 852-3428-8309 Fax: 852-3428-8319

R&Dセンター

〒229-1131
神奈川県相模原市西橋本2-23-3

調達センター

〒229-1132
神奈川県相模原市橋本台3-1-5

津久井工場

〒220-0411
神奈川県相模原市津久井町青野原2111

ISO14000の活動

株式会社ニックス・本社及び津久井工場は、この度認証取得しております環境マネジメントシステムの国際規格ISO14001を、1996年版から2004年版へ更新致しました。
今後も環境マネジメントシステムの実施を通して、継続的に維持、改善活動を推進してまいります。

【認証取得日】 2005年11月15日 【登録証番号】 C2005-01845-001 【審査機関】 Perry Johnson Registrars, Inc. of JAPAN

環境理念

株式会社ニックスは、精密エンジニアリングプラスチック関連部品及びJIG(生産性向上の為の道具立て)の開発、設計、製造及び販売活動を通して、地球環境及び地球環境に優しい環境保全の重要性を認識し、地球社会の一員として社会に大きく貢献します。

環境方針

1. 環境関連の法律、規律、条例及び環境に影響を与える事業活動に関連した顧客をはじめとするその他の要求事項を順守するとともに、必要に応じ自主基準を設定し、汚染の予防、リサイクル製品の開発、環境負荷物質の排除、地球環境の保全に努めます。

2. 技術的、経済的な事情を考慮し、製造及び事業活動を通じて、環境影響評価を行い、下記項目の環境負荷の低減に積極的に取り組みます。

- 1) 省エネルギー活動
- 2) 省資源活動
- 3) 廃棄物の分別推進活動
- 4) リサイクル化推進活動
- 5) 材料の再生利用、有効利用

3. 環境改善活動を推進するため、環境マネジメントシステムを実施し、環境目的・目標を設定し、継続的なレビュー、改善を行います。

4. 省資源、省エネルギーなどの地球環境保全に対する活動をニックスで働く又はニックスのために働くすべての人に周知し、環境意識向上と本方針浸透の為の啓蒙活動を積極的に行います。

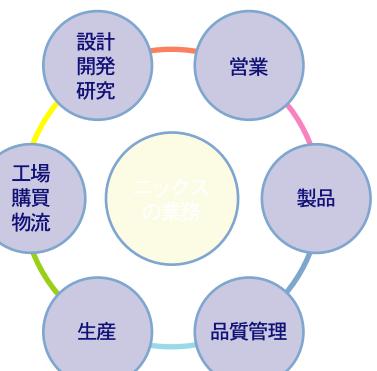
5. 本方針は、ニックスで働く又はニックスのために働くすべての人に周知し、一般の人々に対しても広く公開し効果的な活動を展開します。

働くすべての人の参加により一人一人がこの環境理念の実現を目指します

NIX, INC.
株式会社ニックス

2005年4月1日

株式会社ニックス
代表取締役社長 青木伸一



ニックスからIPMのご提案

社団法人日本ベストコントロール協会は2002年5月24日、IPM(Integrated Pest Management)宣言を行いました。IPMの意味は「総合防除」であるとか「総合的害虫管理」と一般的に訳されています。

- ・適正な仕様による適正な薬剤、防除機器の使用をいたします。
- ・環境維持管理教育をうけたペストコントロール技術者の育成をはかります。
- ・人と環境に配慮し、有効性・安全性・経済性に調和のとれた施工方法を確立します。

たえず環境との調和を視野に入れ、実際の調査に基づいて具体的な対策を立案。従来にありがちな薬剤散布に頼った処理をするのではなく、それぞれの場面にあわせて多様な対策を行うということです。たとえば従来のゴキブリ駆除では室内での残留噴霧や空間噴霧が当たり前であったのを、現場の実情に基づき、ペイト剤だけで対応するとか、場合によっては物理的な対策も組み入れてみるとか、さらには、ある程度の共生を視野に入れて考えるなどの総合的防除の姿勢が望まれているのです。すなわち「化学的防除」「物理的防除」「環境的防除」の三つを組み合わせることでより安全な総合防除への道を模索しようという姿勢です。そのためには、第四の「人材的防除」へ発展させていく発想、すなわちPMPs(Pest Management Professionals)へ向けた更なるレベルアップが必要なのかもしれません。ニックスが北米で6年の実績あるARINIX®を日本にご紹介する背景には、新しい部品の考え方を総合防除に反映させて頂きたいという願いがあります。ペイト剤や薬剤を散布する方式に加えてプラスチックに薬剤が練り込まれた防虫忌避部品を併用することで、より防除の効果を上げることが可能となります。とくに絶縁性的の素材ですから従来おざなりになっていた電気的装置などに「入れない」「住まない」「産ませない」という新しい用途が期待できます。

ARINIX® アリニックス 誕生物語

1998年4月某日、私は自動車の燃料系開発責任者と自動車の樹脂化と今後期待されるであろう生分解性プラスチック(現在はこの種の樹脂を"植物由来樹脂"と称している)の可能性の話で盛り上がっていました。その会話の後半「いやー、実は困ったことがあって・・・」と話が切り出された。内容は、北米向けに生産している自動車の環境規制がだんだん厳しくなり、自動車の燃料ペーパーを限りなく外に出さないシステムが要求され、特にカリフォルニア州は全米の中で規制が一番厳しいという。その自動車メーカーは、ORVR(Onboard Refueling Vapor Recovery)という高度なシステムを構築したことでの規制をクリアすることが可能となつたが、その排出部からクモが入って巣を作ることかなり低い確率ながらあるという。アメリカでは、虫のトラブルは自然現象として処理されており各自動車会社は問題の優先順位を下においている。しかし出来ることなら解決したい、何か妙案はあるだろうか?という相談である。暫定的な案で、進入口をメッシュで覆つたが効果が無いどころか詰まりを促進させる要素もあり検討を中止したとのこと。当時プラスチック製の防虫製品をいろいろ調べてみたが、ペット用に市販されている「ノミ取り首輪」が唯一樹脂製で自動車部品の可能性があった。しかし、効果の持続が3ヶ月程度とのことで断念。自動車は10万キロとか10年以上の寿命が一般的だからである。この段階でそれ以上探すことをあきらめ自ら新材料を開発することになった。

開発には、それぞれの分野のスペシャリストが必要である。①防虫忌避剤選定のプロ②樹脂選定のプロ③複合材料選定のプロ④生物評価のプロ⑤薬剤樹脂金型・成形のプロ⑥残存薬剤分析のプロ・・・工業分野の部品開発のために多くの人材が投入されることとなつた。

薬剤がうまく練りこまれない、練りこまれた薬剤が出てこない、うまく練り込まれるものの直ぐ放出してしまい寿命が維持できない、冬場の実験用クモの飼育が難しい、薬剤がべトべトしていて成形できないなど・・・多くの問題が目の前に立ち塞がつた。開発しようとしている素材は、自動車のしかも燃料系統ということで耐熱性・耐薬品性にまず優れている必要があった。その要求に応えるためにはエンジニアリングプラスチックという分子量の多い高分子材料を選定する必要がある。必然的に薬剤を複合化させるための難易度が高まる。このとてつもないレベルの素材開発に近道はなかつた。ただひたすら多くの組み合わせを地道に評価する辛抱強さだけが求められた。掛かつた歳月1年と8ヶ月。多くのハードを越え生まれた防虫忌避新素材はNIXAM®400。完成した部品を「スパイダーガード」と命名した。商標が取れる名前ではないが、イメージにぴったりする感じが良かった。

2000年の秋から輸出が始まった・・・しかし、アメリカに着いた途端に問題が起きた。サンフランシスコの通関で「スパイダーガード」の名前に興味を持った通関担当者が部品の用途を確認したのである。名前の通り「クモの防虫忌避」「EPAの登録Noは?」始めて耳にする言葉であった。その結果、EPA(Environmental Protection Agency:環境省)に登録されていない部品は、アメリカの地に入れることが許されないとという結論が下された。サンフランシスコの倉庫に封印されてから3ヶ月が過ぎ、交渉の糸口が見つからない。泣く泣くコンテナを一旦、日本に戻す決断をしたもののいまだ解決策が見出せていなかった。

年が明けて2月、EPAの申請に詳しい弁護士を求めてワシントンD.C.に向かい打開策の協議を行つた。最終結論は「EPAの申請をせよ!」であった。申請には言葉の壁があるので北米の申請コンサルタント会社と国内にも申請のためのコンサルタント会社を立てて申請をスタートさせた。申請したものにしかわからない苦しみ・・・この種の申請がいかに大変で、お金が掛かるかを身をもって体験した時期である。まずどんな資料が必要なのか開示されていないために手探りで資料を作る必要があった。また、申請を請け負ってくれる社内の部門もなく仕事の合間を見て作成しなければならない辛さがあった。なんとか申請書類を提出しコンサルタントの要求事項を追加しながら待つこと13ヶ月(12ヶ月というのが一般的な審査期間)、いっこうに登録の兆しがない。西海岸であれば日本時間の9時が現地では夕方の5時、ところが東海岸だとさうに時差が3時間あるためにコンタクトを取ろうと夜中の11時まで待たなければならない。何とかわれわれの機会損失やビジネスチャンスの喪失を訴え15ヶ月後に登録通知をもらった。やっと輸出再開である。

2002年の秋、アメリカでの防虫忌避製品事業が順調に進む中、クモ以外にアリの被害が北米南部の地域で多発している情報を入手した。アメリカでは一般的に「ファイアーアント(Fire Ant)」と言われ日本名は「ヒアリ(学名: Solenopsis invicta 英語名: Red imported fire ant)」で登録されている。自動車用途に開発された防虫忌避素材NIXAM®400をこの分野の権威であるTexas A&M大学に持ち込んで評価を依頼した。

結果は「ファイアーアントはARINIX®に対して高い感受性を示す」であった。そこで具体的な共同研究が開始され、その実験データによって新たにEPAの申請を行つた。2005年5月、ARINIX®は、ファイアーアントに対する防虫忌避効果が認められEPAの登録部品となつた。さらに、カリフォルニア大学リバーサイド校との共同研究では「ファイアーアント」と同時に現在、山口県を中心に問題となっている「アルゼンチンアリ」の評価も行いアメリカでの学会発表を行つた(Heather S.Costa, Les Greenberg, John Klotz, and Michael K.Rust, 2005, Response of Argentine Ants and Red Imported Fire Ants to Permethrin-Impregnated Plastic Strips: Foraging Rites, Colonization of Potted Soil, and Differential Mortality, Journal of Economic Entomology, Entomological Society of America, 2089-2094.)

そして2006年の春、日本では琉球大学農学部との共同研究が進められARINIX®の効果が検証されつつある。アシナガキアリ(Anoplolepis gracilipes)、ツヤオオズアリ(Pheidole megacephala)、アシジロヒラフシアリ(Technomyrmex albipes)、イエヒメアリ(Monomorium pharaonis)などの感受性や忌避性が徐々に解明され、総合防除の一翼を担える製品として期待されている。

(作: 株式会社ニックス 五十嵐治)

NIXAM®およびARINIX®は、株式会社ニックスの登録商標です



不快害虫用駆除剤「グリアート[®]セレクト」新発売

今後とも液剤散布の代替を推進

アメリカやヨーロッパでは、有機リンの屋内散布が制限されていることからジェル剤によるゴキブリ駆除が主流になっていますが、日本の現場においてはまだ有機リンやピレスロイド系を有効成分とする液剤散布（アクティブ処理）が主流です。しかしながら、1990年初にベイト剤が本格的に導入されてから、作業性、施工性を高めたジェル剤へと引き継がれ、その高い駆除効果と環境への安全性に関する評価が高まっています。特に、化学物質による環境や健康への問題がクローズアップされている中、環境過敏で悩まれている方や小さいお子さん、老齢者の方などが利用する学校、病院、老人ホーム、レストラン、鉄道車両などの施設、また水を極端に嫌う現場において、ジェル施工（パッシブ処理）が増えているようです。日本においてもアメリカやヨーロッパで起こったような液剤散布からジェル剤への置換えの流れが一層高まるものと期待されています。

バイエルクロップサイエンスは、ヒドラメチルノンを有効成分とする医薬品「マックスフォース[®]ジェルK」、医薬部外品「マックスフォース[®]（小型）G」をゴキブリ駆除用として上市しています。また、今回不快害虫駆除用としてフィプロニルを有効成分とする「グリアート[®]ゴールド」に加え、「グリアート[®]セレクト」発売のお知らせができることになりました。「グリアート[®]セレクト」は、フィプロニルの含有量を0.05%に増量した新規ベイト処方の不快害虫用ジェル剤であり、有効成分フィプロニルの速効性、卓越したドミノ効果に加え、喫食性の改善による相乗効果を合わせ持つ、付加価値の高い製品です。『現場はタフなジェル剤をもとめている』という声にお応えするバイエルクロップサイエンスの自信作です。

「マックスフォース[®]」によるジェル剤施工の特長：

- ◆ レスケミカルで安心施工。
有害とされる揮発性の有機物質や界面活性剤などの副成分を含まないため環境に放出される化学物質を大幅に抑えることができます。
- ◆ 環境に配慮したスポット処理で長期間効果が持続します。
少量で高い効果を発揮するため、ゴキブリの習性を熟知したプロが使えば鬼に金棒です。
- ◆ コロニー駆除を可能にするドミノ効果。
ジェル剤を摂食したゴキブリを有効成分の運び屋として利用し、散布では届きにくい巣まで有効成分を行き渡らせ、コロニー全体を駆除します。
- ◆ すぐれた経済性と作業性。
食べ尽くされた箇所にのみ再施工するため、液剤散布と比べて経済的。施工・メンテナンスのしやすさで作業性も向上します。
施工時間や施工場所に制約が少なく、施工前後の養生も必要なく手間が省けます。
液剤残留散布が得意な高さ・方向への施工も可能です。

バイエルクロップサイエンスは、医薬品「マックスフォース[®]ジェルK」および医薬部外品「マックスフォース[®]（小型）G」を主軸に置いてゴキブリ駆除での液剤散布の代替を促進し、ジェル剤の市場開拓を継続して参ります。

今後ともジェル剤のパイオニアであるバイエルクロップサイエンスにご期待ください。

MAXFORCE

ゴキブリ駆除は、ジェルの時代へ

「ジェル」で、ゴキブリをノックダウン。



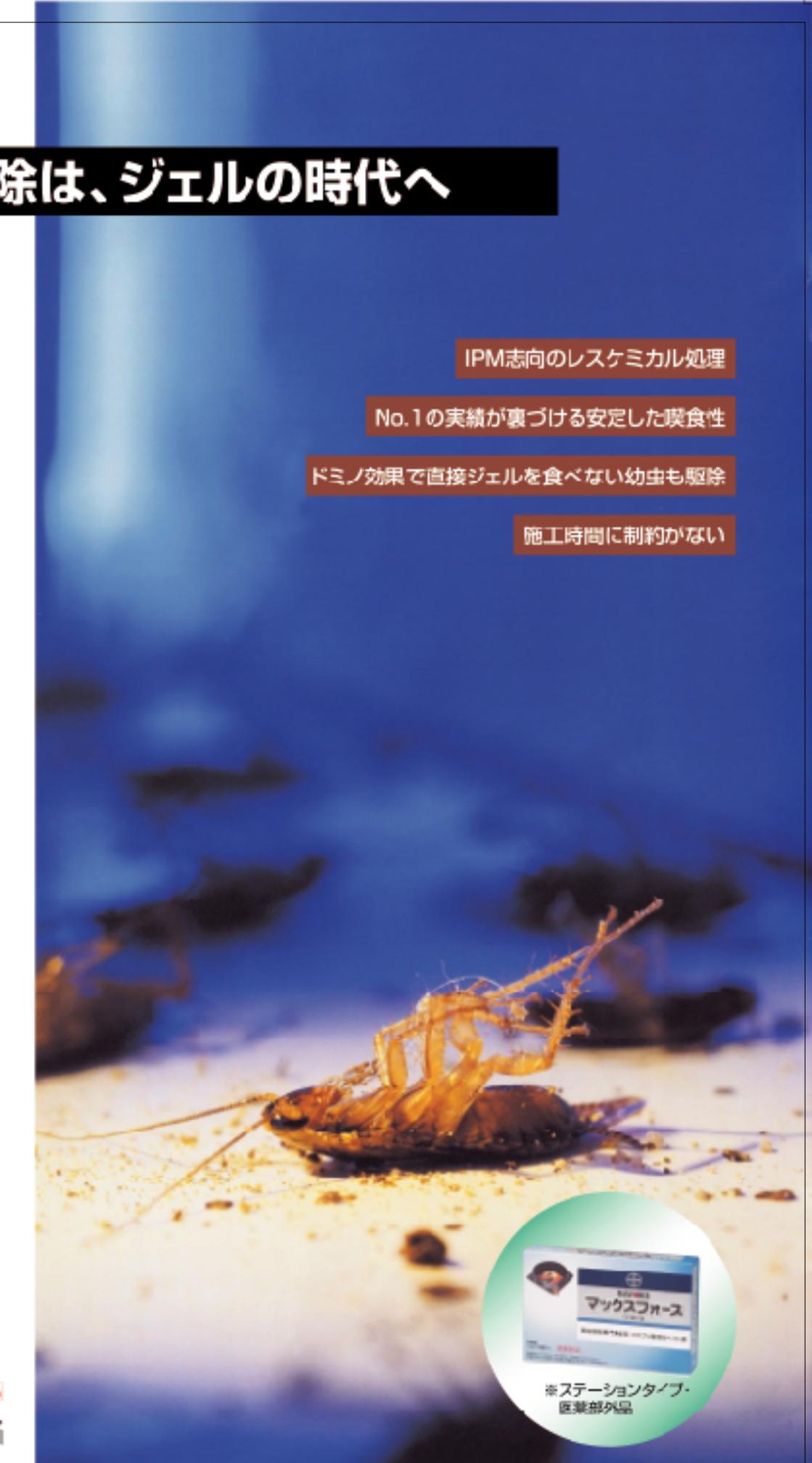
MAXFORCE
マックスフォース[®]
ジェルK

IPM志向のレスケミカル処理

No.1の実績が裏づける安定した喫食性

ドミノ効果で直接ジェルを食べない幼虫も駆除

施工時間に制約がない



Bayer Environmental Science

BASF アグロ株式会社

“イノベーションによって世界をリードする、農業および環境緑化分野の優れたパートナー”

BASF(本社:ドイツ ルートヴィッヒスハーフェン)の農業製品部門は、殺菌剤、殺虫剤、除草剤のイノベーションを提供するサプライヤーとして世界をリードしており、その製品群は農業の生産性と農作物の品質向上に役立てられているほか、環境衛生害虫・シロアリ駆除、およびゴルフ場や家庭園芸、公園等の植生管理、林業など、非農耕地向けに利用されています。

農業製品部門は、西欧および中欧、北米、ブラジル、日本などの高付加価値市場のニーズを満たすことを最優先の目標とし、さらなる成長が見込めイノベーションに対するニーズが強いと考える分野に特化した形で大規模な研究開発活動を継続しています。

さらに、市場をリードするイノベーターとしての役割を維持したいと考えており以下の手法により革新性を確保しています。

- ◆明確な戦略方針
- ◆強力な研究開発パイプラインとライセンス導入による新製品
- ◆顧客のニーズに即した資源、製品、サービスの確立

イノベーションに対する取り組み

農業製品部門では、経済的、生物学的、生態学的にメリットのある有効成分を発見することを主眼として、研究開発を進めています。特にコア市場におけるコア有効成分という、高付加価値分野に注力しています。

農業製品部門の2005年における研究開発支出は3億ユーロを上回り、これは売上の約9%に相当します。コア市場での大きなプレゼンス、強力な製品開発パイプライン、特許製品の占める割合の高さ、顧客満足度の高さなど、いくつもの優れた特長を持っており、今後も大きな成長が見込まれます。

明確なビジョン

BASFの農業製品部門は世界をリードするイノベーターとして、人々の生活の質を向上させることをビジョンとしています。詳細についてはwww.agro.bASF.comをご覧ください。



殺虫剤・除草剤本部(米国ノースカロライナ州リサーチトライアングル)

BASF(ビーエーエスエフ)は「ザ・ケミカル・カンパニー(The Chemical Company)」を標語に掲げる世界の化学業界のリーディングカンパニーです。BASFの製品群は、化学品、プラスチック、高機能製品、農薬、ファインケミカルから原油や天然ガスに至るまで多岐にわたります。あらゆる業界のパートナーとして信頼されているBASFは、高度なソリューションと高品質な製品によって、顧客のさらなる成功をサポートしています。BASFでは、新技术の開発により新たな市場を切り開いています。また、経済的な成功、環境保護、および社会的責任を果たすことにより良い未来に貢献しています。9万5,000人以上の従業員を擁するBASFは、2005年度には427億ユーロを超える売上高を計上しました。

同社のインターネットホームページアドレスはwww.bASF.comです。

日本の環境衛生製品市場における製品群

- シロアリ駆除剤
ステルスSC(土壤処理剤)
ステルスWT(木部処理剤)
- ゴキブリ駆除剤
サブターフュージ
- バルク供給
ヒドラメチルノンペイト

新しい展開へ向けて。 2つの企業力を結集。



エス・ディー・エス バイオテック研究所 SDS research institute

フマキラー広島事業所
Fumakilla Hiroshima office

フマキラー工場全景 Fumakilla factories



フマキラー開発研究所 Fumakilla research institute

A convergence of 2 enterprise strengths for new progress

暮らしから見つめる。環境から見つめる。技術から見つめる。私たちは、さまざま角度から新しい製品のヒントを探求しています。よりクオリティの高い品質を目指し、システムを構築し、皆さまにお届けていきます。

Our outlook is based on the perspectives of daily life, the environment, and technology. Our quest for new product ideas involves seeing from many viewpoints. With the goal of increasing quality, we have created a unique system, providing our customers with goods of the highest value.



FTS(フマキラー・トータルシステム株式会社)は2000年にフマキラー株式会社と株式会社エス・ディー・エス バイオテックによって設立されました。2つの会社の技術が、新しいベストコントロールシステムの開発に向けて結集。フマキラーのブランドで新しい商品、サービスを提供していきます。

FTS (FUMAKILLA•Totalsystem Ltd.) was established in 2000 by FUMAKILLA, CO., LTD and SDS Biotech KK. The strength of FUMAKILLA's product development technologies is combined with SDS Biotech's development technologies for new medical agents, resulting in the creation of new products and services.

つねにベストをつくし、新しい発想で取り組んでいます。

We always go the extra distance, and bring new ways of looking at things to our business activities.

Faithfulness

信頼性を支える誠実 Loyalty in support of trust

ユーザー主体にて要望や評価をとりいれていく姿勢こそ私たちのテーマです。優れた製品は、優れたシーズよりも徹底したニーズの調査によるものと考えます。



Technology

たえず未来を見つめた最先端の技術力 The most advanced technology, harnessed through relentlessly foreseeing the future

2つの企業から継承する豊富な経験と技術力、ベンチャー企業としての新しい発想力と行動力により未来へ挑戦していきます。既成概念を捨てることにより新たに創造されるものがあります。FTSは次々と新しい発想を発信していきます。



Safety

環境への安全性が最優先 Safety for people and the environment is the highest priority

いつもの時代にも求められている性能は安全です。エコロジーとは環境に対する安全性。世界が真剣に取り組んでいるテーマです。私たちも環境の一部として安全性を追求していきます。



鵬図商事の新しいパートナー Killgerm Group Ltd.

会社名 Killgerm Group Ltd.
住 所 Terra Nova Works, Denholme Drive, Ossett,
 West Yorkshire WF5 9NB UK
従業員 120名
代表者 Jonathan Irwin Peck (Chairman Director)

[Killgerm Group社]

Killgerm Groupは、1893年にイギリスにて発足しました。Kill(殺す)germ(微生物、細菌)の名前通り、消毒用薬剤等の製造から出発しました。その後長い変遷を得て、1971年Mirfield Agricutral Chemicals社の一事業部であったKillgerm Disinfectantの担当役員にジョナサン・ペック(Jonathan Irwin Peck)氏が就任しました。その後、1976年に同氏が同Killgerm Disinfectant事業部を買収し、現在Killgerm Chemicals社を設立しました。

その後、Killgerm Chemicals社は発展を続け、ヨーロッパ5カ国にグループ会社をもつ、イギリス最大のPCO薬剤・機材の製造販売会社に成長しました。グループ会社の急速な成長に伴い、各社の経営・財務戦略を総括的にマネージメントするために、Killgerm Group社が1994年に設立されました。

現在グループ本社は、イギリス北部の工業の町Ossett市Denholme Driveにあります。2,800m²の自社敷地内に製造部門と倉庫機能が集約されています。

[Working Together]

Killgerm Group社は、Working togetherをモットーに、ベストコントロールマニュアルの作成、書籍の出版、業界ニュースの発行、セミナーの実施、害虫の同定・検査、品質管理のアドバイス、商品開発から薬剤の回収まで、幅広いサービスを提供しています。そのオペレーターの役に立つ商品開発・サービスの実施を心がける姿勢は、社員一人一人に徹底されています。

Killgerm Group社商品導入第一弾として、今回はポートデミ・ダイヤモンドをご紹介しました。



Killgerm Group社のジョナサン・ペック会長(右)、PestWest Electronics Limited社ジョン・グリーン社長(左)。当社訪問時の写真。ジョン・グリーン社長は、ライトラップに関する世界屈指の技術者でもあります。



【グループ各社】

Killgerm Chemicals Limited 社

イギリス最大のPCO薬剤・機材の製造販売会社
 ISO 9001取得済
 商品の製造販売のほかに、PCO向けに様々な教育コースを設けています
 【フォローアップ】
 害虫の同定検査、技術指導、品質管理の調査・指導
 産業廃棄物に関する指導・教育

Killgerm GmbH 社

ISO 9002取得済
 ドイツ最大のPCO商品販売会社
 ドイツ、オーストリア、スイスでの販売を担当

Killgerm SA 社

スペインのバルセロナを拠点にスペイン、ポルトガルで活動

Albatross Marketing Limited 社

1980年代にPCO業界の発展を目的として創刊した“Pest Control News(PCN)”誌の編集・刊行はじめ、グループ外にも様々なサービスを提供しています

PestWest Electronics Limited社

捕虫機の開発から製造・販売
 ISO 9002取得済
 本国イギリスを中心にヨーロッパ、北米、南米、アジア、オーストラリアへの捕虫機の販売
 【商品】
 粘着シートラップが好まれる米国市場において、デザイン性と機能性が高く評価されています

PestWest USA LLC

PestWest USA LLC 社は米国で活動しています。
 北米、南米への商品の販売を行っています。

Killgerm Benelux NV 社

ベネルクス3国(ベルギー、ルクセンブルク、オランダ)
 におけるPCO商品の販売

ABLI GmbH社

ドイツにある食品衛生安全に関するコンサルタント会社
 ドイツがEC食品衛生基準導入を機に設立。LKV(ドイツの公的食品衛生検査機関)の委託業者として、食品衛生業界、ベストコントロール業界への教育、研究、調査、KLV(ドイツ公的食品衛生機関)の認定を行っています。



富士フレーバーのモニタリング用フェロモントラップ

FUJITRAP®

JT
GROUP

⑤ フェロモントラップの特長

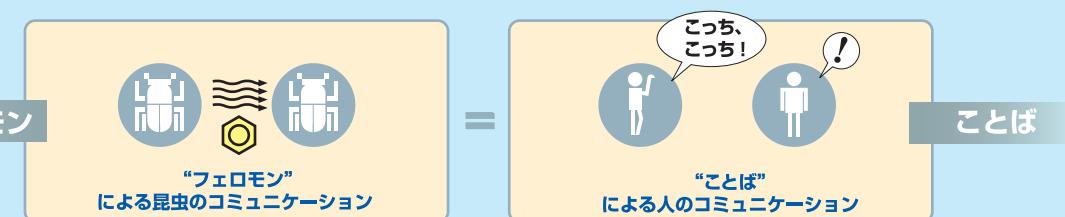
1. 品揃えが豊富（食品害虫・農業害虫を含め約30種）
2. ISO9001に基づき高品質を維持
3. 高性能トラップ：害虫の早期発見、早期対応が可能
4. ISO14001に基づいた環境にやさしいトラップ

フェロモントラップの使用目的

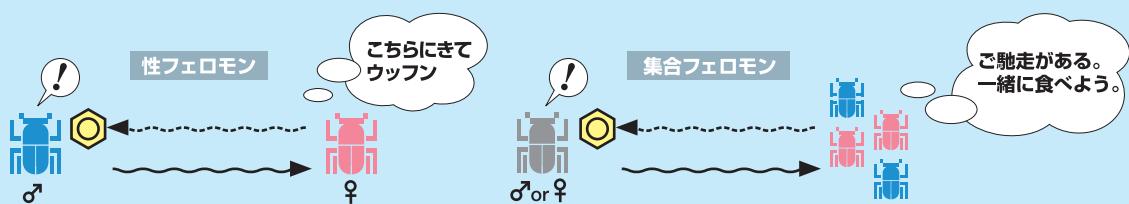
- モニタリング資材として下記データが得られる。
1. 発生消長
 2. 発生源探索
 3. 分布状況
 4. 対策の効果判定
- IPM（総合的害虫管理）に貢献
食品工場の害虫の異物混入対策

フェロモン
とは？

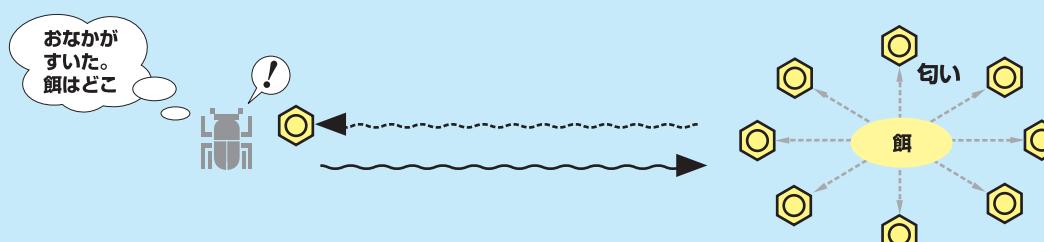
昆虫の“フェロモン”って、何？… それは、昆虫の“ことば”です！



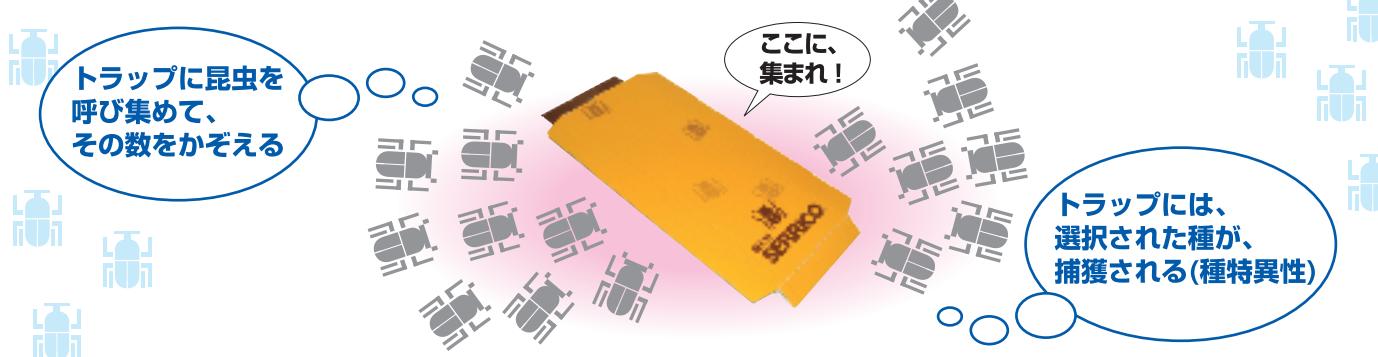
フェロモントラップに利用できるのは、「呼び集める」フェロモン



フェロモン以外で“呼び集める”食物誘引剤が存在。



フェロモントラップによるモニタリング



富士フレーバー株式会社

〒205-8503 東京都羽村市緑ヶ丘3丁目5の8
TEL : (042)-555-5186 FAX : (042)-555-7920 <http://www.fif.co.jp/jp/ecomon/>



鵬図商事について

会社概要 212page

Company Prospectus 214page

“鵬図ってこんな会社です” 216page

“Here are activities of Hohto!” 218page

鵬図商事について

鵬図商事(ホウトショウジ) 株式会社

— 社名の由来 —

中国の戦国時代の思想家、莊周の代表的著書「逍遙の遊」に次のような一文があり、これが社名の由来となっています。

北の海に一匹の魚在り。その名を鯤と謂う。

その鯤の偉大なること幾千里にも及ぶ。

この魚化身して鳥となり、その名を鵬と謂う。

その背の高きこと幾千里なるをも知らず。

奮い立って飛び立つその羽は恰も雲の天より垂れ下がる様にも似る。

この鵬、海の動くに応じて天の池、即ち南の海に旅立たんと思ひ立つ。

鵬南冥に渡るや水を擊つこと正に三千里、扶搖を搏つて上がること九万里、

去るに六ヶ月の息を以てするものなり

会社概要

会社名 鵬図商事株式会社

所在地 本社

〒145-0064 東京都大田区上池台五丁目2番1号

TEL. (03) 3748-8580 FAX. (03) 3748-8560

(E-Mail) info@hohto.co.jp

ナイナイプラザ店舗、通販事務局(本社内)

TEL. 0120-561643 (携帯電話からはTEL. 03-3748-9673) FAX. 0120-416430

ホートCSセンター(本社内)

物流部門: TEL. (03) 3748-9268 FAX. (03) 3748-9226

アフターサービス部門: TEL. (03) 3748-9260 FAX. (03) 3748-9269

設立 昭和38年(1963年)5月15日

資本金 6,100万円

役員 取締役会長 芝生 幸夫

代表取締役社長 添野 正宏

取締役 松原 治(株式会社紀伊國屋書店会長兼CEO)

取締役 渋谷 英郎(渋谷石油株式会社社長)

監査役(税理士) 池田 健

事業内容 農業用および衛生用機械器具の販売

精密工作機械、印刷機械の輸入ならびに販売

農業用薬品、防疫用薬品、脱臭剤、香料の輸入および販売

医薬品、医薬部外品、劇物・毒物の販売

前各号に附帯する一切の業務

主要顧客 P.M.Pおよびビルメンテナンス業者

食品製造およびサービス業者

ホテル・旅館、事務所、学校、病院、全国市野村

諸官公庁

各県下代理店 他

主要仕入先 バイエルクロップサイエンス株式会社、BASFアグロ株式会社

三共アグロ株式会社、大日本除虫菊株式会社

アース製薬株式会社、フマキラー・トータルシステム株式会社、

住商アグロインターナショナル株式会社、株式会社マザーズ

日本カルミック株式会社

(独)SWINGTECH社、(英)KILLGERM社、(英)PestWest社、(英)SOREX社、(米)PARACLIPSE社

(米)WHITMIRE MICRO-GEN社、(米)B&G社

(米)WATERBURY社、(米)EFD社

(米)HOCKMAN社、(米)John W.Hock社、(米)CLARKE社、(米)EDS社

他

取引銀行 三菱東京UFJ銀行五反田駅前支店、みずほ銀行四谷支店

りそな銀行大森支店、三井住友銀行旗の台支店

阿波銀行蒲田支店、東京都民銀行五反田支店、横浜銀行蒲田支店、城南信用金庫池上支店

商工組合中央金庫大森支店

許認可 医薬品一般販売業

毒物・劇物一般販売業

動物用医薬品一般販売業

加入団体 日本ペストコントロール協会

東京都ペストコントロール協会

埼玉県ペストコントロール協会

神奈川県ペストコントロール協会

愛知県ペストコントロール協会

大阪府ペストコントロール協会

日本しきあり対策協会

日本ペストロジー学会

日本衛生動物学会

日本環境動物昆虫学会

日本家屋害虫学会

ねずみ駆除協議会

米国ペストマネジメント協会(N.P.M.A)

Company Prospectus

	Hohto Shoji Co., Ltd.
<i>Address</i>	Head Office 2-1, Kami-Ikedai 5-Chome, Ota-Ku, Tokyo 145-0064 TEL. (03)3748-8580, FAX. (03)3748-8560 (E-Mail) info@hohto.co.jp URL: http://www.hohto.co.jp/ Nai Nai Plaza / mail-order sales office (Located in the Head Office) TEL.0120-561643 (from mobile TEL.03-3748-9673) FAX.0120-416430 Hohto CS Center (Located in the Head Office) Distribution : TEL.(03)3748-9268 FAX.(03)3748-9226 Repair Service : TEL.(03)3748-9260 FAX.(03)3748-9269
<i>Establishment</i>	May 15, 1963
<i>Capital</i>	61 million Japanese yen
<i>Management</i>	Chairman of the Board Yukio Shibo CEO & President Masahiro Soeno Director Osamu Matsubara (CEO & Chairman, Kinokuniya Bookstore Co.) Director Hideo Shibuya (President, Shibuya Sekiyu Co.) Auditor / CPA Takeshi Ikeda
<i>Line of business</i>	Sale of agricultural and sanitary equipment Import and sale of precision machine tools and printing equipment Import and sale of agricultural chemicals, toxic chemicals Sale of medical and non-medical chemicals, toxic chemicals Act of commerce secondary to items above.
<i>Major Customers</i>	PMP companies and facility management companies. Food processing and service industries. Hotel, Inn, Office, school, Hospital, Municipal Governments Government Agencies Distributors and retailers

<i>Suppliers</i>	Bayer CropScience K.K. / BASF Agro Ltd. SANKYO Agro CO., LTD. / DAINIHON JOCHUGIKU CO., LTD. Earth Chemical Co., Ltd. / FUMAKILLA-Totalsystem Ltd. SUMMIT AGRO INTERNATIONAL LTD. NIPPON CALMIC LIMITED (Germany) Swingtec GmbH / (UK) KILLGERM Group Limited (UK) PestWest Electronics Limited / (UK) SOREX / (USA) Paraclipse. Inc. (USA) WHITMIRE MICRO-GEN Research Laboratories, Inc. (USA) B&G Equipment Company / (USA) WATERBURY COMPANIES, INC. / (USA) EFD, INC. (USA) HOCKMAN-LEWIS LIMITED / (USA) John W.Hock Company / Environmental Delivery Systems, Inc. others
<i>Banks</i>	Bank of Tokyo-Mitsubishi UFJ, Ltd., Gotanda-Ekimae Branch / Mizuho Bank, Ltd., Yotsuya Branch / Resona Bank, Ltd., Omori Branch / Sumitomo Mitsui Banking Corporation HatanoDai Branch / The Awa Bank Ltd., Kamata Branch / The Tokyo Tomin Bank, Ltd., Gotanda Branch / Bank of Yokohama Kamata Branch / The Johnan Shinkin Bank Ikegami Branch / The Shoko Chukin Bank Omori Branch
<i>Authorized for</i>	Sale of medical supplies Sale of toxic substance Sale of veterinarian medical supplies
<i>Membership</i>	Japan Pest Control Association Tokyo Pest Control Association Saitama Prefecture Pest Control Association Kanagawa Prefecture Pest Control Association Aichi Prefecture Pest Control Association Osaka Pest Control Association Japan Termite Control Association The Japan Society of Pestology The Society of Medical Entomology and Zoology Japanese Society of Environmental Entomology and Zoology Rodent Control Association National Pest Management Association

鵬図商事について

鵬図ってこんな会社です…

● 業界とともに歩んできました

日本ベストコントロール協会の誕生



写真: 昭和43年5月23日
鵬図商事株式会社主催 第一回環境衛生研究会

● 鵬図が目指すサービス

“高品位で均一なサービスを全国のPMPの皆様へ”を合言葉に、十分な在庫と物流の合理化、品質の安全確保を実現し、輸入商品も含め、PMPの皆様のお手元にいち早くご注文商品を納品できる物流体制をつくりました。

● 業界の潮流を的確に捉えた品揃え

業界の流れ:

慣行処理法からIPMの考え方に基づく新処理法へ…。

IPMの考え方に基づく施用機器や薬剤の提案:

ペイト剤、粉剤、調査用の機器やトラップ、捕虫機、ポイント処理用施用機器等を当社の独自性を反映させて商品化し、皆様に提案します。



Hohto CSセンター

● ホート PMP セミナーの開催

技術顧問のウィリアム H. ロビンソン、Ph.D.他、業界の第一線でご活躍の講師を招いてセミナーを開催。害虫の生態から最新の防除技術の他、ニュービジネスの提案、経営、マーケティング講座など、事業運営に役立つ情報入手の場を提供します。

また、会場内では、新商品の展示やデモを行うなど、実際に商品をご覧になっていたくこともできます。



セミナー風景

● HOHTO PMP NEWSの発行

鵬図商事(株)技術顧問、現場に最も近い学者の一人として知られる
ウィリアム・ロビンソン博士の

『最新害虫防除技術』

PMP企業の経営環境から技術情報までを広範囲にカバーする、
ピントアソシエーツ社 ローレンス J. ピント社長の

『ピントレポート』から、
最新防除資機材を紹介する

『NEW PRODUCT』、

業界や当社のイベント、キャンペーン等を紹介する
『INFORMATION』など、

盛り沢山の内容で最新の情報をお届けします。



これまでに米国PMP業界の多くのリーダーたちがサジェクションを贈ってくれました。



● インターネット・ホームページによる情報発信

URL <http://www.hohto.co.jp>

自信をもってお勧めするために…

● 徹底した社員研修で知識の向上に努めています

社内研修会:商品知識、防除知識修得のための研修

技術顧問(ウィリアム H. ロビンソン, Ph.D.)や外部講師による研修

社外研修会:業界内の各種セミナー、講習会、資格取得研修会

(毒物劇物取扱主任者講習会、しきりあり防除施工士講習会等)

● 商品説明、防除方法解説のためのソフトを充実

商品や防除方法を懇切丁寧に説明したプレゼンテーション・ソフトを用意し、PMPの皆様の社員教育をお手伝いします

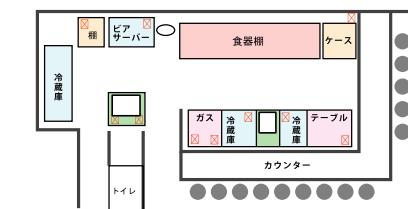
● 自ら実践して検証結果をお伝えしています

わたしたちの使命は実践的な情報提供にあります。

そのために、まず自分たちが現場に行って、機材を試用してみたり、フィールドテストを実行してみます。

例) ベイト剤マックスフォースジェルKの評価

■ 調査風景とトラップ配置



■ 回収トラップ写真



■ 生息指数の変化



Here are activities of Hohto !

- Establishment of JPCA

The association to work on environment sanitation was initiated in its formation by Hohto Shoji Co., Ltd.



- Hohto aims to provide opportune services for PMP

Efficient distribution system works to promptly serve PMPs with high quality merchandise.



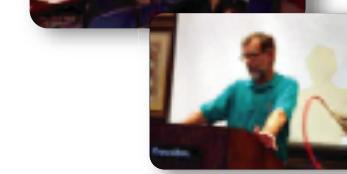
- The line of products pertinent to the occasion

Hohto offers line of products with its originality such as Baits, Dusts, Equipment Traps to monitor and control flying Insects, and Equipment for crack and crevice.



- Hohto PMP Seminar

Lectures of Dr.William H. Robinson, and other active specialists on pest biology, latest control techniques, on the new business management, marketing. etc. New products are also exhibited and demonstrated at the seminar.



- HOHTO PMP NEWS

Up-To-Date Pest Control Technology by Dr.William H. Robinson, Technical Adviser to HOHTO, well known as one of the most active entomologists.

The Pinto Report by Mr. Lawrence J. Pinto, CEO of Pinto & Associates, Inc. on PMP firm management and on control applications techniques.

Column "Product" introducing the latest equipment.



- Offering information on the Net

URL <http://www.hohto.co.jp>

To be the best adviser for PMP

- Training of Hohto's sales force

Further study on products and pest control techniques, by in-house training as well as Lectures of Dr.William H.Robinson,Technical Adviser and other specialists.



- Software for Products Presentation

In-service education software is prepared to visually show features of products and control methods.



- Verification of product effects

Field tests are circumspectly conducted.



For an example:The results with the Max Force Gel K, the bait

- Monitoring Traps placed in a restaurant kitchen

- Retriever Traps



- Change in Subsistence Index

